

おお大勝利

平成 29 年度山東サッカー部報第 7 号 (6 月 13 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

県総体 準々決勝で日大山形に敗れる

6 月 2 日 (金) ~ 4 日 (日) 天童市の県総合運動広場 (べにばなスポーツパーク) サッカー・ラグビー場にて、県総体第 2 ラウンドが行われました。**ベスト 8 は、フリス・Y1 在籍の 7 チーム中 6 チームが残り、リーグ戦の位置 = 実力と考えると順当な勝ち上がり。**ただ、順当な勝ち上がりから漏れたのが米沢中央だったのには驚いた。実は私、戦前の優勝候補筆頭は米沢中央だと思っていたのです。Y1 で対戦してみて、または戦いぶりを観戦してみて、ボランチ・CB の安定感を一番感じた。やはり何が起こるか分からない高校生の一発勝負ですね。ということは、今年のこれまでの成績、昨年までの成績から考えて番狂わせも起こり得る訳で、**準々決勝日大山形戦も、山東に勝機は必ずあるはず。残り 3 勝すれば IH。しかし、一戦必勝。この試合にすべてを賭ける。**

2 日午前中、強烈な風雨に見舞われ、どうなることか危ぶまれた天候も、午後には晴れ。何もしていない人にとっては肌寒い気温も、サッカー選手にとってはベストコンディション。風もあるが、大きな問題ではない。長めの天然芝はグラウンダーのパスにブレーキがかかるため、日頃より強いパスを意識していない選手にとっては厳しい環境。しかし、2 種世代では強いパスは常識。身につけていない方が悪い¹。先週に引き続き、**清野総監督、工藤先輩、後藤報道局長のいつも御三方に岸後援会会長も加わり、四者そろい踏み。**そして試合後気付きましたが、私の高校時代のサッカー部の**恩師鈴木先生**も応援にいらっしゃっていた²。**学校からは野球部諸君が午前の通常授業を経て応援に駆けつけてくれた！ これには感激したな～。野球部諸君、次はサッカー部が応援し君たちが頑張る番だよ！！ 多数の若手 OB や保護者の皆さまも、学校や仕事を休んで！ 応援に駆けつけて下さった。そして、齋藤 GK コーチ、高橋コーチ、志田トレーナーも、仕事に都合をつけて、駆けつけて下さった (名和前トレーナーも応援に来て下さっていた)。****もう一人の顧問志村先生も、台北の故宮博物館由来の玉を身にまとって必勝を期してくれた。**私はと云えば、ナオヤの代 (山東 58 回卒)³で作りその後何代か続いたが、山東を UMBRO というブランドで統一して以来長らくしま

¹ 2 種世代 (高校生) と限定しましたが、4 種 (小学生) のキックで強調されるべきは強さよりも正確性でしょう。優先順位と言ってもいい。正確に蹴るようになってから、強さを求める順番で良い。でも 2 種では、「緩くていいから正確に蹴ろう」なんてコーチングはあり得ない。では 3 種は・・・。

² 鈴木先生は私の前任の**晃先生** (64 回卒のミサキ、66 回卒のカツミの父) の頃から顧問をされており、IH・選手権の県予選を共に制したレジェンド二冠会 (もちろん中心選手は晃先生) の頃の監督であり、**故佐竹元校長**が監督としていらっしゃってからは部長としてご活躍され、後に山形中央高校の校長として退職されました。時折、激励のメールを頂戴し、元気を頂いています。

³ コテッチャン (山東 64 回卒) の兄。

っていた MIZUNO⁴のポロシャツをひっそり着こんで、山東往年の強さにすがって見た。

さて、試合が始まると、やはり日大の競り合いの強さ、セカンドボールを拾う意識の高さ(読みの確かさ)から、山東陣地での試合を余儀なくされる。まあ、これは予想の範囲内。辛抱強く戦いつつ、山東の時間になった時に焦らずしっかりとした攻撃でフィニッシュまでつなげれば良い。日大のサッカーを山形県で長らくリスペクトする私も、**日大と同じことをして(日大の土俵で)日大に勝てるとは思っていないし、山東が日大のサッカーを丸ごと目指したこともない⁵**。ロングスロー、CK で立て続けに緊張を強いられるも、凌ぎ続ける。すると前半の中盤、少しずつ日大ゴールに迫ることができるようになり、中でも **2年千ヨロキクチャン**が **3年ボランチカイト**の縦パスを受けてカットインからファーにシュートを打ったシーンは惜しかったように見えた(角度的にどのくらい惜しいシュートだったかはわかりませんが)。前半は日大のプレッシングサッカーに押され気味になるも、最後の最後まで剥がされたわけではないという感じで、何とか凌ぎ切った。**前半スコアレス**。

ハーフタイム、速い判断をする中でボールを収めるところはちゃんと収めたり、後ろからつなげるときにはちゃんとつなぐよう指示。日大と同じことをやっても日大には勝てない。特に、後ろから大きく放りこんでも、チビっ子軍団の山東は明確なターゲットもないし、簡単に跳ね返されてボールが収まらない時間が続き、持ち味が出せる展開にもならない。

さて後半。山東がいつになく良い入りをした。前半見られなかった、日大ゴールに迫り押し込み続ける山東の時間を作る。特に、またもや **3年CBタイセイ**の縦パスを受けたキクチャンが、縦にボールを置いて方向付けした後ドリブルからシュートを放ったシーンは惜しかった。しかし、いずれもゴールマウスを捕えることができず。やはり、後半の山東の時間のところで一点欲しかった。そうこうするうちに、また押され始め・・・後半の中盤、GKからCBにスロー(手投げ)でボールが渡る。この試合、初めて自陣ゴール前からビルドアップを試みる。日大は前線から常にアグレッシブに守備をしてくるので、なかなかGKのスローが成立しないのだが、勇気を持って決断した。これはハーフタイムでも機を観て実行するよう指示を出していた。するとCBのパスがずれ、相手に渡り、サイドをそのまま挟られ、センターリング。**それを、これまた勇気を持って飛び出したGKハレルよりも先に、日大の長身SHに豪快に頭で合わせられ、山東とうとう失点**。何とか凌いでいたのですがね。結局その後、山東に好機は訪れず、**3年ボランチのアダチ**が落ち着いてボールを散らし、ワ

⁴ 試合直前、**なかじまスポーツ店を営んでいるハレル父**から、「MIZUNOにお勤めの元GKの五十嵐さんという方からの差し入れです」とエネルギー補助食品を頂いた。最初誰だか分らなかったけど、**ヤスヒト(62回卒)ありがとね**。しかしまあ、欠席がちのヤスヒトのだるい高校時代を知っている私からすると、就職先として非常に人気のスポーツ用品メーカーにバシッと就職するあたり、感慨深いものがある。そして、彼を拾い上げたこのメーカーの眼力に、感心させられる。ヤスヒトはお勉強をそつなくこなせる優等生ではなかったけど、サッカーシューズコレクターであり、はっきり言えばスポーツ用品のオタクだった。学生時代もレアなサッカーシューズを買うために、サッカーシューズ専門店ですつせとアルバイトをしていた面白い奴。何事も好きこそもの上手なれだな〜、と感じる今日この頃。

⁵ 部報愛読者の指導者から「今野先生って日大のこと相当好きですよ」と問いかけられることがあります。この部報で長年、日大サッカーに対する私のリスペクトを書き連ねてきたので、「それも止む無し」と思いますが、同時に複雑な気持ちになります。**私は、自分の高校時代も含め、「日大のサッカーをどう乗り越えるか」を必死に考え、試行錯誤してきた**。ので、日大のサッカーを簡単にあしらう話をする人間に出会うと、とても腹が立つ。「お前に何がわかるんじゃ〜」。特にこういう輩、バルサのパスサッカーが全盛を迎えていたときに多かった。日大を実際のゲームであしらった上で「口撃」するならいざ知らず、だいたい負け惜しみで「日大はただ蹴るだけ」と言っているにすぎないことが多い。そして大体、バルサのパスサッカーをも誤解していることが多い。

イドに攻める姿勢を示すも、シュートの前の段階でのミスが多く、シュートまで持っていけない展開があまりにも多かった。**結局 0-1 で敗戦。**

選手は良く頑張りました。惜しいシーンも作り、**山東らしい攻撃もあった。**決して一方的な試合ではなかった。失点につながるプレーも監督の指示通りであり、選手が悪いわけではない。そして、この敗戦の中でもうれしかったのが、**一試合を通して、選手の集中が途切れなかった**こと。Y1、県総体初戦と、後半崩れる試合が多かっただけに、この県総体の大事な試合、選手は良く頑張った、**熱く戦ってくれた。**ただ、**勝たせる選手起用、ティテールの構築を監督ができなかった**・・・。

盛大な応援ありがとうございました。山東にとって最大の大会が終わりました。無念ですが、リーグ戦一巡目まで（7月1日山形中央B戦まで）はハレルの代（山東第68回卒予定）が続きます。最後まで応援よろしくをお願いします。

Y1第6節 東海大山形戦完敗

6月10日（土）Y1第6節東海大山形戦が石鳥居グラウンド（山銀グラウンド）で行われました。**県総体のすぐ翌週ってことで、夢破れた山東にとっても、東北選手権第三代表決定戦まで行って敗れた東海大山形にとっても、気持ちの切り替えが難しかった**この試合。お互い県総体での無理がたたって故障者も抱えているだろう。山東は前期中間考査前ってことでテスト休みもあり、調整も難しい。しかし、**リーグ戦の一戦の重要性は県総体前後でも変わらないはず。言い訳している暇はない。**

前半、早々に質の高い縦パスをCBとGKの間に入れられ決定機を作られるも、シュートが外れ、事なきを得る。その後、4分6分で東海優勢の展開も、お互いシュートの前の段階での精度を欠き、前半スコアレス。

後半も途中まで同じ展開。「このままスコアレスのまま終わってしまうかもしれない試合だな」などと感じていると、ミドルシュートを突き刺され、失点。**山東、残念だが、守備でも攻撃でも覇気が感じられない。**2年FWタカヒラ、3年CBカンタが故障でベンチで退く苦しい展開。その後、CK、スローインから失点し、「押されながらも粘る」展開に持って行くことができず、**結局元気なく 0-3 で完敗。山東の時間を全く作ることができず、今期最も内容の悪い惨敗。**去年のこのチームを観ているような錯覚に襲われました。今期に入り、「昨シーズンまでとは違うよ」と思い感じていた手応えが吹き飛んでしまいました・・・。

いよいよ次節、3年生が全員そろって最後の試合になるが、最後もこんな中途半端な試合になるとしたら、県総体後もリーグ戦一巡目まで残る意味がない。特に3年生の奮起が待たれる！次節ハレルの代最後の試合になります。応援よろしくをお願いします。

7月1日（土） Y1第7節 VS 山形中央B 13:30～ @山形市球技場

（今週末は東北選手権のためY1は開催せず、来週末は元々U16のミニ国体の前哨戦であるトレセンマッチデーの集中開催が予定されておりY1は開催せず⁶。そのため次節は2週空くことになりました。）

⁶ しかし、実際トレセンマッチデーの集中開催が今週末にずれ込んだため、来週末が丸々空くことになりました。